

一般演題6 その他 症例報告

9:00~9:50

座長：坂本 哲也(帝京大学医学部附属病院救命救急センター 教授)
川端 信司(大阪医科大学脳神経外科 准教授)

- O6-1 重度意識障害と判断した重症ギランバレーの一例
磯野^{いその} 直史^{なおふみ} (東住吉森本病院 脳神経外科)
- O6-2 意識障害にて搬送された麻痺性貝中毒による呼吸筋麻痺の一例
高橋^{たかはし} 賢吉^{けんきち} (大西脳神経外科病院、脳神経外科)
- O6-3 間歇型一酸化炭素中毒に thyrotropin releasing hormone が著効した一例
苧坂^{おさか} 直博^{なおひろ} (おさか脳神経外科病院 脳神経外科)
- O6-4 意識障害で発症し大学への復学を目指した破裂脳動静脈奇形の1例
近藤^{こんどう} 進^{すすむ} (京都リハビリテーション病院)
- O6-5 鍼刺激中および鍼治療期間前後の局所脳血流の評価を行った遷延性意識障害の1症例
松本^{まつもと} 淳^{じゆん} (木沢記念病院・中部療護センター)
- O6-6 脳卒中急性期 意識障害例における直腸潰瘍の合併
山田^{やまだ} 佳孝^{よしたか} (西宮協立脳神経外科病院 脳神経外科)

特別企画3 意識障害スコアリングの考え方

9:50~11:20

座長：藤原 悟(一般財団法人広南会広南病院 院長)
鈴木 明文(秋田県立病院機構 理事長)

- SP3-1 意識障害スケールの歴史・Japan Coma Scaleの考え方
竹内^{たけうち} 栄一^{えいいち} (京都リハビリテーション病院 名誉院長)
- SP3-2 Emergency Coma Scale の考え方 一意識障害の評価の最近の動向
奥寺^{おくでら} 敬^{ひろし} (富山大学大学院危機管理医学(救急・災害医学)教授)
- SP3-3 遷延性意識障害スケールの考え方
長嶺^{ながみね} 義秀^{よしひで} (一般財団法人広南会 広南病院 東北療護センター センター長)

特別講演2	意識障害スコアリング再考	11:20~12:05
座長：松居 徹（埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科 教授・科長）		

SL2 慢性期軽症意識障害スケールの作成
こんどう いずみ
 近藤 和泉（国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター リハビリテーション科・部 部長）

ランチョンセミナー3	12:10~13:10
座長：田辺 英紀（医療法人ラポール会田辺脳神経外科病院 院長）	
共催：株式会社メディカ・ライン	

LS3 「きのこの可能性」ー食・サプリー様々な活用法ー
なかむら ともゆき
 中村 友幸（NPO法人 応用きのこ総合研究所 理事長）

特別講演3	意識のメカニズム	13:15~14:45
座長：西澤 茂（戸畑総合病院脳神経疾患センター センター長）		
宮武 伸一（大阪医科大学がんセンター 特務教授）		

SL3-1 意識の神経相関
よしだ まさとし
 吉田 正俊（生理学研究所 システム脳科学研究領域 認知行動発達機構研究部門）

SL3-2 ワーキングメモリ・デフォルトモードと意識
おさか なおゆき
 荻阪 直行（京都大学 名誉教授／大阪大学脳情報通信融合研究センター 招聘教授）

一般演題7	リハビリ 症例報告	15:00~16:15
座長：豊田 章宏（中国労災病院リハビリテーション科 部長）		
近藤 和泉（国立長寿医療研究センター病院 副院長）		

O7-1 頭部外傷後遷延性意識障害患者に対して前傾立位練習を実施し意識障害が改善した1症例
さわむら しょうご
 澤村 彰吾（社会医療法人厚生会 木沢記念病院 総合リハビリテーション部）

O7-2 重度高次脳機能障害患者に対し、BWSWにて歩行練習を行い、ADL介助量が軽減した一症例
たむら まなえ
 田村真奈絵（社会医療法人厚生会 木沢記念病院 総合リハビリテーション部）

- 07-3 小児重度脳挫傷に対して階段昇降の高難易度な課題を促し動作改善に至った症例
もりもと じん
森本 忍 (医療法人社団 秋桜 丸川病院 リハビリテーション部)
- 07-4 トイレ誘導の工夫により自発性向上に繋がった、ADL全般に拒否的な頭部外傷患者の一例
あらかしのすけ
荒谷進之介 (社会医療法人 医仁会 中村記念病院 医療技術部 作業療法科)
- 07-5 意識障害の経過で精神症状をきたしリハビリ治療が困難となった脳幹部病変の1例
ふるかわ けいすけ
古川 佳祐 (医療法人清水会 京都リハビリテーション病院)
- 07-6 視線入力による意思伝達装置で高次脳機能障害の評価が可能になった一例
かざはや やすゆき
風早 康之 (独立行政法人 自動車対策機構 岡山療護センター リハビリテーション科)
- 07-7 患者の「食べたい」に着目した訓練で嚥下・言語機能の改善を認めた症例
あおた ともみ
青田 知美 (社会医療法人厚生会 木沢記念病院 総合リハビリテーション部)
- 07-8 頭部外傷後意識障害はみられず記憶障害を呈した症例
ひだかかなこ
日高可奈子 (日本医科大学 武蔵小杉病院 言語療法室)
- 07-9 介入方法の工夫により作業遂行への耐久性が向上した高次脳機能障害例
なんぼ りょうこ
南保 良子 (社会医療法人厚生会 木沢記念病院 リハビリテーション部)

指定発言	遷延性意識障害患者管理のセーフティネット	16:15~17:15
座長：周郷 延雄 (東邦大学医療センター大森病院 教授)		

指定発言1 意識障害患者・家族を取り巻く社会環境
うへだ たかし
上田 孝 (医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 理事長)

指定発言2 災害時の遷延性意識障害患者への対応
-災害要配慮者と医療従事者はかかわるのか-
もりや たかし
守谷 俊 (自治医科大学附属 さいたま医療センター 救急科 教授)

閉会挨拶	17:15~
黒岩 敏彦 (大阪医科大学脳神経外科 教授)	

7月21日(土) B会場(5階 サイエンスホール)

一般演題8 リハビリ 評価

9:00~9:35

座長：前島伸一郎(金城大学 学長・教授)

- O8-1 受傷から1年8ヶ月を経て食事の経口摂取が可能となった重症頭部外傷の一例
かたおか ゆか 片岡 由夏(広南病院 東北療護センター リハビリテーション科)
- O8-2 当院のリハビリテーション科における医療安全の取り組み
～継続した学習会の意義～
たかざわ たろう 高澤 太郎(自動車事故対策機構 千葉療護センター リハビリテーション科)
- O8-3 遷延性意識障害症例に対する経頭蓋直流電気刺激を用いた治療介入
一介入プロセスと結果
あべ ひろあき 阿部 浩明(一般財団法人広南会広南病院東北療護センター リハビリテーション科)
- O8-4 意識障害の回復期リハビリテーション病棟アウトカム評価への影響
一当院の傾向から一
こんどう かつゆき 近藤 克征(医療法人清水会 京都リハビリテーション病院)

シンポジウム4 慢性期意識障害患者の在宅医療ケア

9:35~10:50

座長：日高紀久江(筑波大学医学医療系 教授)

葛田 衣重(千葉大学医学部附属病院地域医療連携部)

S4 基調講演

遷延性意識障害患者の在宅医療に向けての準備

まつした ひろよ 松下 寛代(藤田保健衛生大学 地域包括ケア 中核センター
訪問看護ステーション)

- S4-1 遷延性意識障害者および家族が抱える諸問題について
うえだ まさゆき 上田 正之(医療法人社団孝尋会 上田脳神経外科 リハビリテーション部)
- S4-2 社会資源を活用した我が家での在宅介護例
かわかみ ひろし 川上 浩史(全国遷延性意識障害者・家族の会 関西ブロック)
- S4-3 遷延性意識障害者に対するリハビリの一環としての「環境からの働きかけ」
なかしま よりこ 中島 依子(全国遷延性意識障害者・家族の会会員)

- S4-4 重症脳卒中患者に対する救急・手術から訪問診療までのシームレス治療
さとう みつお
 佐藤 光夫（一般財団法人脳神経疾患研究所附属南東北福島病院 脳神経外科）
- S4-5 重度～軽度高次脳機能障害への多職種によるチームケア
やまぐちけんいちろう
 山口研一郎（やまぐちクリニック）
- S4-6 遷延性意識障害患者に対し訪問リハビリテーションで積極的な歩行練習を導入した試み
むとう ともかず
 武藤 友和（医療法人社団明世会 成城内科 在宅医療・訪問リハビリテーション部）

意識障害学会脳神経看護実践セミナー

14:45～17:15

司会：紙屋 克子（筑波大学 名誉教授、京都看護大学大学院 教授）

1. 看護師のための意識レベル、神経症状のみかた
ひやくた たけし
 百田 武司（日本赤十字広島看護大学 老年看護学領域）
2. 遷延性意識障害患者への誤嚥性肺炎予防
いけだ まゆみ
 池田 真弓（藤田保健衛生大学病院 看護部 A-10S 病棟（呼吸器内科）
 摂食・嚥下障害看護認定看護師）
3. 意識障害患者の経管・胃ろう管理
だんじょう あけみ
 檀上 明美（大阪医科大学病院看護部 / 慢性疾患看護専門看護師 /
 摂食・嚥下障害看護認定看護師）
4. 意識障害患者の栄養管理
ほんだ ちほ
 本田 千穂（自動車事故対策機構 岡山療護センター脳神経外科・リハビリテーション科）
5. 意識障害患者のリハビリテーション
さくらぎちえこ
 櫻木千恵子（藤田保健衛生大学病院脳卒中リハビリテーション看護認定看護師）